

161 フランスで選ばれた日本の偉人（その 1：明治時代）（2023 年 5 月 18 日）

Le Monde 社が「漫画で描く歴史上の偉人」シリーズを発刊しています。2023 年 5 月現在で 102 刊が発行され、様々な時代の世界の偉人 89 人を紹介しています（一人の人物について 2 冊以上発行されている場合がある。）。この中で日本人は、明治天皇（1852-1912）、東郷平八郎（1848-1934）、吉田昌郎（1955-2013）の 3 名（吉田氏については 2 冊）が取り上げられています。これらの人物の名前を見て、日本の歴史上の重要人物としてこれらの人物が選ばれたことに驚きを覚えました。なぜなら、日本人が選ぶ日本の偉人とは、少し異なるからです。日本人が選ぶ日本史上の偉人という、統計によって順位は異なりますが、ほぼ間違いなく上位を占める人物がいます。それは、古代の日本で天皇中心の国家を作り上げた聖徳太子（574-622）、戦国時代に天下統一と果たした織田信長（1534-1582）、265 年に及ぶ江戸幕府の基礎を築いた徳川家康（1543-1616）、激動の幕末に新たな政治を模索した坂本龍馬（1836-1867）等が挙げられます。

明治天皇と東郷平八郎は、いずれも明治時代（1868-1912）に生きた人物です。日本では、西暦に加えて元号という暦を併用しています。元号は、天皇の即位に合わせて改められます。明治天皇が即位していた時代を、明治時代と呼びます。日本は、江戸時代の終わりに開国するまで 200 年以上の間、鎖国をしていました。明治時代より以前は、フランスを始めとするヨーロッパ諸国との交易は、オランダを通じたごく限られたものでした。ですので、フランス人には、明治時代より前の日本人は、印象が薄いことが考えられます。それでは、明治時代とはいったいどのような時代だったのでしょうか。

明治時代は、現代の日本社会の生活や制度の基礎が作られた時代と言えます。開国によって欧米諸国から様々な西洋文化がもたらされ、日本は急ピッチで近代国家への歩みを進めていきました。明治時代に初めて誕生したのは、枚挙にいとまがありません。鉄道が開通し、郵便制度が導入され、電気を使うようになり、小学校教育が始まりました。自由民権運動が広がり、1889 年に大日本帝国憲法が發布され、1890 年に第一回衆議院議員選挙が行われ、帝国議会が開催さ



れました（写真左は、明治天皇による憲法發布を描いた浮世絵）。明治政府は、軍事力強化や産業の振興に力を入れました。政府は、フランス、イギリス、ドイツ、アメリカといった国から技術者や軍人を「お雇い外国人」として招へいして、諸外国の社会制度

パリの日本大使館員がフランスで見つけた日本



Ginza à Tokyo, 1911

「銀座」明治 44 年

出典：国立国会図書館「写真の中の明治・大正」

や科学技術を学びました。フランス人では、例えばレオンス・ヴェルニー、ポール・ブリュナらがお雇い外国人として、日本の近代化に貢献しました(※)。また、日本は、日清戦争や日露戦争を経て、近代国家の仲間入りをしようとしていました。そして、日露戦争で活躍したのが、東郷平八郎です。東郷は、海軍軍人として 1905 年の日本海海戦において、ロシアのバルチック艦隊との戦いを指揮して勝利しました。

文化的には、19 世紀後半からジャポニスムが起こりました。クロード・モネやヴィンセント・ファン・ゴッホといった画家たちが、浮世絵の影響を強く受けた作品を発表しました。美術商の林忠正の活躍によって、浮世絵や陶芸といった日本美術がフランスで知られるようになりました。日本とフランスの間では、明治以降に本格的な文化交流が始まりました。フランスから見ると、明治時代は、日本という国が存在感を持ち始めた時代だったと言えるかもしれません。



Le bâtiment de la Diète impériale, 1910

「帝国議会議事堂」明治 43 年

出典：国立国会図書館「写真の中の明治・大正」

※

[お雇い外国人（１）横須賀造船所：レオンス・ヴェルニー](#)

[お雇い外国人（２）富岡製糸場：ポール・ブリュナ](#)

[お雇い外国人（３）軍事顧問：アルベール＝シャルル・デュブスケ](#)

[お雇い外国人（４）日本近代法の父：ギュスターブ・ボワソナード](#)

[お雇い外国人（５）ラストサムライ：ジュール・ブリュネ](#)

[お雇い外国人（６）日本初のガス灯設置：アンリ・ペルグラン](#)

[お雇い外国人（７）生野銀山：ジャン＝フランシスク・コワニエ](#)